
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教 授 大庭 千恵子

研究キーワード : 国際関係史、南東欧地域研究、EU の変化と「域外」への影響

■研究テーマ

① テーマ : 旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国における多民族共存の模索

概要 : 1991 年に旧ユーゴスラヴィアから独立したマケドニア共和国は、多民族混住の地であり、2001 年以降は、国際社会の介入の下、制度面での多民族の権利保障を行ってきています。ここでは、どのような問題が生じ、どのような解決策が模索されているのかについて、法改正、地方自治制度改革、教育政策、公務員規定改正など、具体的な政策課題と絡めて検証しています。

② テーマ : EU の変化と影響

概要 : 2010 年以後のギリシア危機を発端としたユーロ危機、2014 年以降に地中海あるいはバルカン半島経由でヨーロッパに大量流入した難民の受け入れをめぐる加盟国間の駆け引き、「反 EU」や「反移民」を掲げる勢力の台頭、英国による EU 離脱決定、2017 年に各国で行われる重要な選挙など、ヨーロッパ政治経済は現在大きく揺れ動いています。現状と今後の展望が、「域外」とくに加盟候補国に与える影響について、検証しています。

■主な著書、発表論文

- ・共著『ユーゴ後継諸国の対外政策と国際関係に関する研究』晃洋書房、2017 年。
- ・「旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国における教育改革と『非多数派コミュニティ』」『広島国際研究』第 22 巻、2016 年。
- ・「旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国におけるロマの政治的ポジション (1991-2014)」『広島国際研究』第 20 巻、2014 年。
- ・「EU 加盟候補国は『国境』を越えられるか」『世界の眺めかたー理論と地域から見る国際関係』千倉書房、2014 年。
- ・共著 『変貌する権力政治と抵抗 : 国際関係学における地域』 彩流社、2012 年。
- ・共著 『旧ユーゴ研究の最前線』 溪水社、2012 年。
- ・共著 『多文化・共生・グローバル化ー普遍化と多様化のはざま』 ミネルヴァ書房、2010 年。

■想定される連携先

- ・公的研究機関
- ・教育機関